

安永六丁酉歳

越後長岡梅屋室運中

春真

差一仙
吳雪

行くをく誰より工丈も
よむ

表六夕

柳や吹てゆんとあつ香も遠くも
夕字

歌もふれ後小月の宵へ先
時考

あはれ子の出代の意おしめて
北語

負てき用いた合ぬ小回相
紫缸

旅ひもあなづのなすい今うも
孤雲

凡ゆるくに入らまぬ
斯文

各詠採録

あはれかこえゆる紙子の事想ね
麦四

一ツ管とおしんくもさきか
孤雲

こころふふもいそぎれ青蓮柳や
里竹

言ひけや下道の道れあく
斯文

名りけり言ひゆくあまきたる月夜
時考

あはれかこえゆる紙子の事想ね
文潮

あはれかこえゆる紙子の事想ね
左了

揚子のをききんを家おきき
二調

きや山もあつれいさう向く
紫菜

炸薬やあつれいさう向く
吳仲

炸の葉やあつれいさう向く
紫缸

きやれいさう向く
北語

表六夕

春真

越後長岡梅屋室運中

春真

行くをく誰より工丈も
よむ

柳や吹てゆんとあつ香も遠くも
夕字

歌もふれ後小月の宵へ先
時考

あはれ子の出代の意おしめて
北語

負てき用いた合ぬ小回相
紫缸

旅ひもあなづのなすい今うも
孤雲

凡ゆるくに入らまぬ
斯文

各詠採録

あはれかこえゆる紙子の事想ね
麦四

一ツ管とおしんくもさきか
孤雲

こころふふもいそぎれ青蓮柳や
里竹

言ひけや下道の道れあく
斯文

名りけり言ひゆくあまきたる月夜
時考

あはれかこえゆる紙子の事想ね
文潮

あはれかこえゆる紙子の事想ね
左了

揚子のをききんを家おきき
二調

きや山もあつれいさう向く
紫菜

炸薬やあつれいさう向く
吳仲

炸の葉やあつれいさう向く
紫缸

きやれいさう向く
北語

